

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

山口卓也

開催月日	令和5年1月23日		
開催時間	13:15~14:45		
開催場所	滋賀県大津市唐崎二丁目13-1		
主催者	公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	ベーシックサービス宣言 ~分かち合いが変える日本社会		
講師等の氏名等	慶応義塾大学 経済学部教授 井出英策 氏		
内容・結果等	1. 分断社会・ニッポン → 日本の社会保障や経済の状況説明		
	2. ベーシックサービスの理論		
	3. 痛みと希望を分かち合う<連帯の社会>へ → 増税による財源確保との内容		
	4. ベーシックサービス革命		
	まとめ・感想		
	講師はベーシックサービスの考えを世に最初に提案された方である。ベーシックサービスとは、子育て、医療、介護、教育、障害者福祉などの誰もが必要とするサービスを全ての人で無償化するという考えであるが、財源確保が講義のポイントのようで、結論としては消費税増税を声高らかに、聴講者に訴えかけられていた。消費税減税はナンセンスであると。講師の主張としては過剰貯蓄の必要性がなくなるので消費はより活発になり経済成長はついてくるとの持論であった。困っている方が無理なく福祉サービスを受けられる環境の整備は必要と感じつつ、消費税増税は経済を冷え込ませる方向に働くので疑問を感じる主張であった。		
	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
会費	全国市町村国際文化研修所	6,900	
旅費	スカイマーク、その他旅費規則による 嬉野~長崎空港~神戸空港~会場	15,860	
宿泊費			
振込手数料	佐賀銀行	385	
合計		23,145	

上記活動に要した経費

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

山口卓也

開催月日	令和5年1月23日				
開催時間	15:05～16:35				
開催場所	滋賀県大津市唐崎二丁目13-1				
主催者	公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所				
研修会等の名称	一人ひとりの個性を尊重する「あおいけあ流」の介護の世界				
講師等の氏名等	株式会社あおいけあ 代表取締役 加藤忠相 氏				
内容・結果等	概要				
	介護保険制度の正しい運用面の捉え方や、その考えに基づき実際に運営されている高齢者施設での活動内容や高齢者との接し方など具体的な事例をこと細やかに講義していただいた。				
内容・結果等	まとめ・感想				
	1963年「老人福祉法」の「療養上の世話」から、2000年「介護保険法」の「自立支援」へと変化しており、世話をするのではなく、自立を促すような接し方をしないといけないこと(お茶出し、掃除などは施すのではなく、高齢者と一緒に行うこと)や、認知症に関して早い段階で障害される記憶(意味記憶、エピソード記憶)と認知症になっても保たれる記憶(自転車の運転などの手続き記憶)などの具体的事例の説明がありとても理解しやすくわかりやすい講義であった。業務化するのではなく社会参加を促すような取組みを実践されていた。→(高齢者を楽しませるイベントではなく、高齢者が地域を楽しませるイベントを行う。)				
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支	払	先	金 額 ( 円 )
	会場費				一面に記載
	講師謝礼				
	出席者負担金				
	会費				
	旅費				
	宿泊費				
	合 計				0

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

山口卓也

開催月日	令和5年1月24日		
開催時間	9:00～10:30		
開催場所	滋賀県大津市唐崎二丁目13-1		
主催者	公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	ヤングケアラー現状と必要な支援		
講師等の氏名等	一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事 日本女子大学名誉教授 堀越栄子 氏		
内容・結果等	1. ケアラーとは・ヤングケアラーとは		
	2. ヤングケアラー支援の社会的背景		
	3. ヤングケアラーの現状 ～全国調査より～		
	4. ヤングケアラー支援の事例		
	5. ケアラー支援・ヤングケアラー支援がない場合の社会経済的リスク		
	6. ヤングケアラー支援の課題と必要な社会的支援		
	7. 自治体に必要な支援方針・支援体系		
	まとめ・感想		
	ヤングケアラーは少子高齢化や経済低迷といった様々な社会背景から増加傾向になる。		
	お手伝いの域を超え子ども自身の生活や学業を圧迫しており、社会の大きな課題である。		
制度的な課題は、介護保険では同居家族がいれば利用可能なサービスが制限されること。			
ヤングケアラーの負担を社会で分担する理念と仕組みづくりが喫緊の課題であると感じた。			
上記活動に要した経費	経費の内容	支 払 先	金 額 ( 円 )
	会場費		一面に記載
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	合 計		0

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

山口卓也

開催月日	令和5年1月24日				
開催時間	10:50～12:20				
開催場所	滋賀県大津市唐崎二丁目13-1				
主催者	公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所				
研修会等の名称	ひきこもり本人や家族が必要とする支援と地域の役割				
講師等の氏名等	特定非営利活動法人KHJ 全国ひきこもり家族会連合会広報担当理事 池上正樹 氏				
内容・結果等	概要				
	8050家族(長年引きこもる子供と支える高齢の親)について、講師はジャーナリストであり				
	実際に取材を行った事例をもとに具体的に講義していただいた。また、引きこもりについて、				
	引きこもる心情や対応の注意点(引きこもる行為は自死ではなく生き延びようとしている証、				
	引き出すことを目的にしたアウトリーチはNG)、学校時代のトラウマが起因する事例が多いこ				
	と等を説明していただいた。対策としては、家族への支援が重要で、家族に対するアドバイス				
	などを説明していただいた。				
	まとめ・感想				
	引きこもりを支援する上での重要な心構えや対応などを詳しく学ぶことができた。支援する				
仕組みを構築するとともに、支援員の方が本講義のようなものを学ぶ機会の重要性を感じ					
た。引きこもりについては、家族の中のものと家族自身が認識するなどデリケートなもので、					
なかなか社会に表れにくいものであるため、目を配らせ適切なサポートがより重要である。					
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支	払	先	金 額 ( 円 )
	会場費				一面に記載
	講師謝礼				
	出席者負担金				
	会費				
	旅費				
	宿泊費				
	合 計				0